



6月下旬に訪問したときのブドウ房

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

## 特派員だより

### 採り立ての美味しいブドウを産地消費

上尾市は都市化が進み、農家戸数は少なくなっています。そんな中、市役所の南、本町にある鈴木(中)ブドウ農園では、6月下旬、草色のまだ小さなブドウがあちこちにぶら下がっています。ブドウ畑を見ると、高さ約190センチのブドウ棚の下で作業をしている女性がいました。ブドウ農園の奥さんで、新潟生まれの鈴木弘子さんです。はさみを片手に「今日の作業は、やっと5〜7ミリの粒を付けたブドウ

房を適度な数にするために、発育の遅い房、小さい房などを切り落とす、「摘粒」です。今から3〜4回の摘粒をしておいしくなるブドウ房だけを残します。品種によって約10〜20枚の葉に1房の割合で摘粒。やはり手をかければかけただけおいしくなります」と話してくれました。

主人の鈴木孝仁さんは、「父がこの畑でブドウを作り始めたのは、昭和40年で、私は2代目。それまではムギやサツマイモなどを作っていました。が、換金作物としてブドウを導入しようと、組合を作り、ブドウ作りの先進地である甲府市のブドウ農家を見学したり、勉強会をしたりしたようです。現在は市内に16戸のブドウ農家があり、組合長は順番で私が務めています」と話します。さらに「都市化農業で重要なことは、例えば、機械使用は短時間で処理し、薬剤散布は人体に影響の少ない

薬剤を使用するなど、近隣へのご迷惑を最小限にすることです」と強調します。

一方で、「私たちが畑で作業をしていると、通りがかりの人から『ことしのブドウはどうですか』、ひょうが降った時には、『昨日のひょうは大丈夫でしたか』、ブドウを店に出すと、『いつもおいしいブドウをありがとう』のお言葉をいただき、農業を続けて良かったなとも思います」と楽しげに話します。

最後に鈴木さんは、「例年、ブドウの販売は8月1日からでしたが、ことしは日照不足のため、販売日は8月10日から9月末までになります。その期間は早生と晩生のいろいろな品種を販売します。採り立ての、糖度の高い、おいしいブドウを食べに来てください」と話していました。



原市地区  
山口 悟さん

### 市民の情報交流スポット



#### おいでください

■民謡つくし会初心者教室 9月7・14・21日・10月5・19日のいずれも(出)13:30~15:00(全5回)、中央小学校 費500円 当日 渡辺 781-3208(17:00以降)  
【ひと言】アッピー音頭他夏祭り用曲も含め優しく楽しく踊ります。

■祝敬老カラオケ舞踊まつり 9月14日(出)9:30~17:00、文化センター 当日 神田 773-0641 【ひと言】入場無料。健康づくりにお越しください。

■第31回上尾マジッククラブ発表会 9月29日(日)13:00~14:30、文化センター 定150人 申9月21日(出)までにメール(magicageo@yahoo.co.jp)または電話で野原 781-1197(20:00まで)

【ひと言】不思議で楽しいマジックをご覧ください。

■元サッカー日本代表の高原直泰 講演会 9月29日(日)13:30~15:00、文化センター 定280人(先着順) 申9月27日(金)までに事前登録申込フォームから入力、または電話で上尾商工会議所青年部へ 小池 671-7789(18:00まで) 【ひと言】地域のために私たちが今取り組むべきことを学びます。

■聖学院大学創立記念音楽会 10月19日(出)14:00~16:00、聖学院大学チャペル 定300人 申9月20日(金)までに往復はがきで、聖学院キリスト教センターへ 聖学院キリスト教センター 725-5495(17:00まで) 【ひと言】申込み方法は聖学院大学ホームページをご確認ください。

#### いきいきサークル

●コーラスライン(女声コーラス) 毎月第1~3(金)10:00~12:00、畔吉集会所 定女性 費月額1,500円 佐藤 774-6127(21:00まで) 【ひと言】若い目を

指し歌を楽しんでいます。見学も可です。

●オアシス 毎月第3(金)13:00~17:00、平方公民館 定ケーキを愛する人 費月額3,000円 佐藤 774-6127(21:00まで) 【ひと言】ケーキ作りとお茶を楽しむ会です。家族の憩いにかが。

●テニスサークル グリーニーズ 毎週(日)13:00~17:00、上平公園他 定経験者 費年額8,000円 岡田 070-2262-1952 【ひと言】元気に楽しむ、永い付き合い。50歳以上の熟年サークル。

●平方パドルクラブ 毎月第1・3(水)15:00~16:30、平方公民館 費月額1,500円(入会金1,000円) 高橋 080-3436-1461 【ひと言】パドルを使って体操やダンスを楽しみながら健康づくり。

●和のフィットネスの会 毎月第2・4(水)13:00~14:30、平方公民館 費月額1,500円(入会金1,000円) 小嶋 726-1233(17:00以降) 【ひと言】優雅な動きでいつの間にか全身運動。綺麗な姿勢作り。

定…定員 定…対象 費…費用 持…持ち物 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み

# スポットライト

～人・仲間～



かわい  
川井

あみ  
亜美さん  
(上尾下在住)

The life of a great person

皆さんは、チアダンスがどんなスポーツか知っていますか？ チアダンスは、応援やイベントを盛り上げるだけでなく、競技として行われるいわゆる「競技チアダンス」もあります。そのチアダンスに青春を捧げ、日々チームの仲間と高いレベルを目指しているのが、上尾中学校2年の川井亜美さんです。

川井さんは、ことしの5月にアメリカで開催された世界大会「THE DANCE SUMMIT 2019」small junior Pom部門で初優勝した、桶川・北本・上尾で活動している「チアダンスチームPINKS DIAMONDS」に所属しています。「チームが一つになって作り上げた演技で、多くの外国人選手が出場する世界大会で優勝できたことは、とてもうれしかったです。また、出場することで外国人選手のごさを肌で感じることもできました」と振り返る川井さん。外国人選手とは身長・体格に差があり、同じ年代とは思えない迫力のある演技を見ることができた



チアダンスを全力で踊る川井さん(右)

## チアダンスに青春を捧げる

### 「THE DANCE SUMMIT 2019、small junior Pom部門」優勝

そうです。川井さんがチアダンスを始めたのは、小学2年生。「踊ることが好きで、さまざまな踊りを見学した中で、一番心を打たれたのがチアダンスだったので、当時住んでいた三重県でチアダンスのチームに所属しました」「主にイベントでチアダンスを披露していて、踊ることの楽しさを教えてもらいました」と無邪気に語ります。そんな川井さんが競技チアダンスを始めたのは、小学5年生。埼玉への引っ越しを機にチアダンスでいつか大会に出場してみたいと思うようになり、大会に出場していた現在のチームに所属しました。チームの練習は週4日。大会が近いときは、毎日になります。「中学では陸上部にも所属しているので、疲れるときもあります。部活動とチアダンスの両立ができるように頑張っています。ただ、練習していく中で、難しいテクニクの壁にぶつかり挫折したこともありました。そんなとき、チームの仲間が失敗箇所を指摘したり、励ましたりしてくれたのでここまで続けることができたと思います」と笑顔で語ります。

「大会で優勝して大好きなチアダンスを多くの人に知ってもらい、挑戦して欲しいです」と話す川井さん。今後もチアダンスで飛躍し続けていくことでしょ



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は8月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



#### イチ面 ～コツメカワソンの3姉妹も仲間入り～ 上尾丸山公園「小動物コーナー」

- 上尾丸山公園の小動物コーナーに仲間入りした、コツメカワソンがとってもかわいらしいです。孫と一緒にぜひ、訪れてみたいと思います。(60代男性)
- 上尾丸山公園の小動物コーナーには17種130匹も動物がいることに驚きました。身近に動物と触れ合える場所があると癒やされます。(20代女性)

新しく仲間入りをしたコツメカワソンをはじめ、上尾丸山公園には数多くの小動物が皆さんを待っています。休日には、家族や友人と訪れてみてはいかがでしょうか。



#### あげたて！NEWS

- 上尾夏まつりで盛り上がりを見せる、神輿の立派さに驚きました。素晴らしい伝統文化を長く残してほしいです。(30代女性)
- 日本の伝統芸能である「能」を体験できる機会があることは、とてもいいことだと思います。上尾のPR大使、梅若さんの今後の活躍に期待したいです。(50代男性)

これからも市内で行われるイベントや情報などを取り上げていき、市民の皆さんに伝えていけるように頑張ります。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。